

中四国最大級のコンテナターミナルの背後に 21,000㎡の床面積を誇るCFS (コンテナ・ フレート・ステーション) が供用スタート!!



広島港出島地区にある「広島港国際コンテナターミナル」は-14m岸壁を有する中四国最大級のコンテナターミナルで、年間約10万TEUのコンテナ貨物取扱量を誇る広島港のコンテナ物流拠点です。

このターミナルの背後地に、株式会社ひろしま港湾管理センターにおいて、国土交通省の補助事業により、小口混載貨物（LCL）の荷捌きが円滑に行われるためのCFSを整備いたしました。

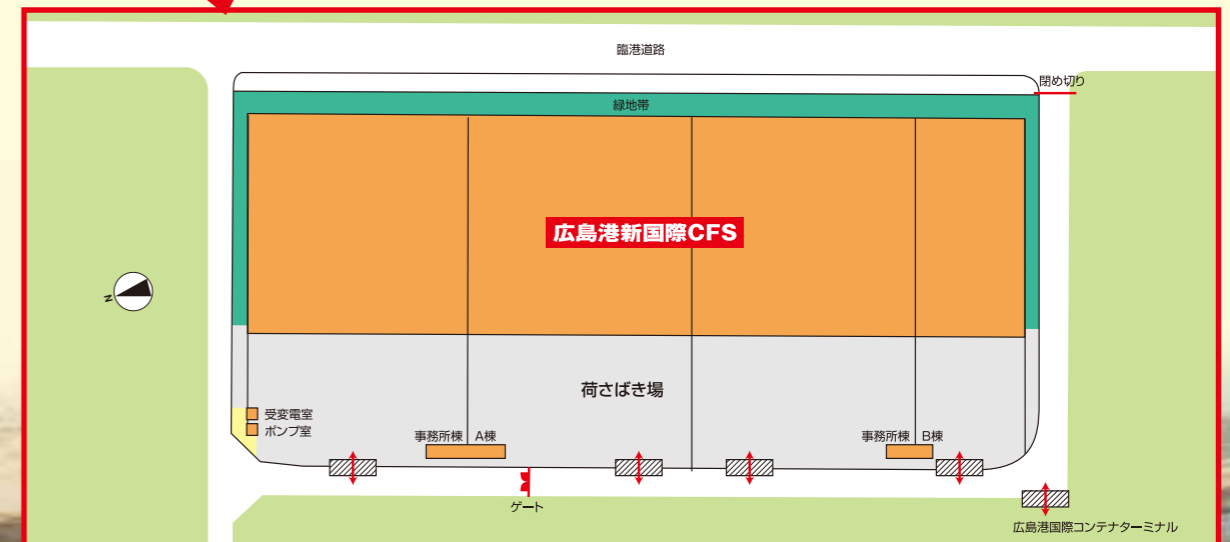
「広島港国際コンテナターミナル」との一体利用によって、利便性が向上され、より使いやすい港として発展していきます。

広島港新国際CFSの概要



施設の概要

所在地	広島市南区出島三丁目1番73号
敷地面積	約3.8ha
構造	鉄骨造 平屋建
床面積	21,000㎡
荷さばき地	約12,000㎡
事務所棟	2棟(床面積約330㎡)
その他	発電出力1,500KWの太陽光発電施設を屋根に設置



エコロジーへの取り組み

2012年7月から経済産業省により導入された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を活用し、屋根に発電出力1,500KW（一般家庭約500世帯分）の太陽光パネルを設置し、地球温暖化防止及び再生可能エネルギーの導入促進に寄与します。

(太陽光発電事業者:株式会社 エネルギア・ソリューション・アンド・サービス)